

二〇二〇年三月一日(参加者二四名)

下萌えてはやいと小さき花掲ぐ	はく子
涅槃図に座して嘆きの声聞かむ	満天
車座に自己紹介や下萌ゆる	うつぎ
端つこの破れし寺宝の涅槃絵図	よし子
涅槃会や指し棒使ひ絵解僧	うつぎ
姦しき三人の来て涅槃絵図	うつぎ
安らかや母の寝顔に似し寝釈迦	智恵子
下萌えて若草山の空ま青	かかし
涅槃図の四百年の金褪せず	うつぎ
駐車場混む下萌の河川敷	こすもす
カラフルなジャングルジムや下萌ゆる	せいじ
下萌に花鉢並べ露天商	董雨
下萌に紙飛行機の着陸す	菜々
下萌に刺さる三脚測量器	素秀
下萌や子ら軽々と逆上がり	せいじ

大幅の余り裾引く涅槃寺	よう子
涅槃図の老女涙で足拭ふ	ぽんこ
よちよちのファーストシューズ下萌ゆる	やよい
一寸の虫も嘆かふ涅槃絵図	小袖
下萌に雀躍やまぬ日和かな	明日香
下萌や赤子の靴のすぐ脱げて	なつき
海望む丘のなぞへの草萌ゆる	わかば
下萌や小女リュックの鈴鳴らし	みづき
廃線の錆びし鉄路や下萌ゆる	たか子

WEB句会みのる選・二〇二〇年三月一日